

平成22年度「自己評価結果報告書」

学校法人 千寿幼稚園

当園ではこの度、平成22年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

一人ひとりの幼児を大切にし、心の豊かさ・明るさ・秩序責任、土と風と太陽に親しみ、より丈夫な身体を育成し21世紀の社会に貢献し得る人格の基礎づくりを指導しています。

- 協同と自主自立の精神を養う
- 豊かな情操と感覚を養う
- 創造性と思考力を養う
- 健康で明るく、心の豊かさを養う

II. 今年度の重点目標

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	取組み状況	
1	教育方針・目標	教育方針・目標は、園の特色を生かしたものになっている。	A	<ul style="list-style-type: none">・静と動のメリハリのある活動を心がけている。・戸外で身体を動かし伸び伸び遊んだり、体育指導を行うなど、子どもの体力向上に取り組んでいる。・野菜・果物の収穫などを行い、自然に触れることができる環境を整えている。・鉄棒、はんとろ棒、なわとび、跳び箱など、子ども達が達成感を味わえるような指導・関わりを検討する。
2	指導計画の作成と評価	自分の保育と計画の評価・反省について、次の保育と計画に生かせるよう取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none">・週案・日案を基に、自らの保育を振り返り、評価・反省を行い、次の保育に生かせるよう取り組んでいる。・保育終了後、教職員が集まり、その日の様子や保育活動について、話し合い、互いに評価・反省を行っている。
3	指導計画の作成と評価	教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かしている。	B	<ul style="list-style-type: none">・先輩の教職員からアドバイスや経験したこと（失敗したこと・成功事例など）を教えてもらい、学び合うよう取り組んでいる。・教職員間で評価・反省したことなどを、今後の保育に生かせるよう意識して取り組んでいく。

平成22年度「自己評価結果報告書」

学校法人 千寿幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況	
4	教育環境の構成	子どもが安全で心地よく、幼児期にふさわしい生活が送れるような環境を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊びでは、ケガや事故、熱中症等に十分注意し、言葉掛けや視診を常時行うようにしている。 ・ 清潔な環境を作るよう配慮し、食事前には必ず手洗いうがい、消毒などを心がけている。 ・ 年齢に応じた教材、玩具等を揃え、教育環境を整えている。 ・ 今後は、教材や玩具等を定期的に点検し、整備する体制を整える。
5	教育環境の構成	幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ セタ会やクリスマス会などの各行事を通して、子ども達が表現する楽しみや意欲を發揮できるように取組んでいる。 ・ 季節感が感じられるような環境作りに配慮している。 ・ 今後も、教職員間で新しい活動を提案し合い、子ども達が楽しく、満足できるような保育計画を検討していく。
6	教職員同士の協力・連携	幼児のことについて常に教職員間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一日の保育終了後、職員室等で互いのクラスのことや個々の子ども達のことを情報交換し、共通理解を持てるように取組んでいる。 ・ 今後も、子ども達の様子や、互いの保育等について、情報交換や話し合いの機会を充実させていく。
7	研修・研究への意欲・態度	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の勤続年数や保育の状況等に応じて、各職員に合った外部研修に参加するようにしている。 ・ 今後はさらに、外部研修に参加した後、その研修内容について園内で情報交換をする場を設けるなど、教職員間の学び合いの機会を充実させていく。
8	研修・研究への取組み	幼児の体力づくり、運動機能のバランスのとれた発育・発達を促す体育あそびやその指導方法を研究している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育遊びの研修に参加したり、書籍を読むなどして、指導方法の向上に努めている。 ・ 今後も、運動機能のバランスのとれた発育・発達を促す体育遊び等を教職員間で検討し、実践していけるように取組む。
9	安全管理体制の整備	緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるよう取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練を定期的に行い、子ども達とともに災害時の対応の仕方を確認し合っている。 ・ 今後も、新しい教職員等に対して、緊急時（事故・感染症など）の対応方法についての共通理解を持てるように取り組んでいく。
10	情報の発信と受信	保育中のけがや病気は、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因を説明の上、通院するなどの対処をしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがケガをした時などは、すぐに対処し、保護者に連絡すると共に、その発生状況等を記録するようにしている。 ・ 今後も、速やかな連絡、状況説明等を行い、保護者の方が不安にならないように誠意を持って対応するよう心掛ける。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

平成22年度「自己評価結果報告書」

学校法人 千寿幼稚園

IV. 今後取り組むべき課題

1	教育・保育活動の充実	鉄棒、はんとす棒、なわとび、跳び箱など、子ども達が達成感を味わえるような指導・関わりを検討する。
2		イチゴ栽培園を充実させるなどし、さらなる食育の充実を図る。
3		教職員間で新しい活動を提案し合い、子ども達がより楽しく、満足できるような保育計画を検討する。
4		運動機能のバランスのとれた発育・発達を促す体育遊び等を教職員間で検討し、実践していけるように取り組む。
5	教職員の協力・連携体制の強化	教職員間で評価・反省したことなどを、今後の保育に生かせるよう意識して取り組む。
6		子ども達の様子や、互いの保育等について、教職員間の情報交換や話し合いの機会を充実させる。
7	職員研修の充実	外部研修に参加した後、その研修内容について園内で情報交換をする場を設けるなど、教職員間の学び合いの機会を充実させる。
8	安全管理体制の強化	施設や遊具、教材や玩具等の定期的な点検を実施し、整備する体制を整える。
9		新しい教職員等に対して、緊急時（事故・感染症など）の対応方法についての共通理解を持てるように取り組む。

以上